

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究
分担研究報告書

原発性胆汁性肝硬変に対する肝移植後予後因子に関する
多施設前向き研究

研究分担者 江川 裕人 東京女子医科大学消化器・一般外科 教授
研究協力者 小木曾智美 東京女子医科大学消化器内科 講師

研究要旨：原発性胆汁性肝硬変に対する肝移植後予後因子を明らかにするために、多施設前向き研究をおこなう。令和4年3月31日に登録を終了し令和8年3月31日まで観察を行う。目標100例のところ、登録終了時で脱落症例を除いて105例が登録された。

共同研究者

江口英利（大阪大学）

八木眞太郎・中沼伸一（金沢大学）

高田泰次・小川晃平（愛媛大学）

江口晋・日高匡章（長崎大学）

日比泰造（熊本大学）

吉住朋晴・戸島剛男（九州大学）

宮城重人・藤尾 淳（東北大学）

長谷川潔・赤松延久・長田梨比人・市田

晃彦・富樫 順一（東京大学）

牛込秀隆・中村緑佐（京都府立医科大学）

波多野悦朗・伊藤孝司（京都大学）

丸橋繁・佐藤直哉（福島県立医科大学）

後藤了一（北海道大学）

三田篤義（信州大学）

大杉頌子（慶應義塾大学）

し、解析する

（倫理面への配慮）

同意取得時において年齢が20歳以上の、本研究の参加にあたり十分な説明を受けた後、十分な理解の上、患者本人（代諾者が必要な場合は代諾者）の自由意志による文書同意が得られた患者を対象とする。治療介入は行わない。

C. 研究結果

情報集積中である。

D. 考察

E. 結論

情報集積中。

A. 研究目的

原発性胆汁性肝硬変に対する肝移植後予後因子を明らかにする

B. 研究方法

多施設前向き研究

登録症例について前向きに臨床情報を集積

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし